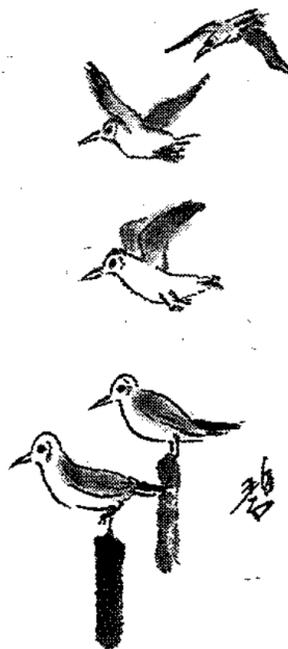


あかふく伊勢だより

竹中碧水史・画

鮎子漁切子ばかりの波蹴って

尾崎恵美子



伊勢物
勢物
伊勢市宇治中之切町・電話(0596)22-2154(代)

る。オーサーと別れて、シン・ハスクコーチと臨むソチ五輪でも、その戦略は変わっていません。

対する真央はトリプルアクセルという、彼女以外には跳べないジャンプにこだわっているが成功率が低く、演技に対して加点もあまりもらえていない。

これまでそこで大きな差がついてきましたから、ソチ五輪で真央が勝つには、まずトリプルアクセルを成功させることが最低限の条件になります」(前出・日本人スポーツライター)

たしかに二人の予想されるフリースケーティングの構成を考えると、ヨナはトリプルアクセルはなしで四

種類の三回転ジャンプを入

れて合計六〇点ほどの基礎点になる。一方、真央はトリプルアクセルを一回入れ、六種類の三回転ジャンプを入れることが予想される。この場合、七〇点近い基礎点になる。

「基礎点で一〇点近い開きがありますが、ヨナのジャンプに大量の加点が付くことを考えると、トリプルアクセルを含むジャンプを完璧に決めなければ、ヨナを振り切ることは難しいでしょう」(同前)

ヨナはオーサーの指導を受ける間に、精神的にも成長していったという。「トレントでの最初のころは練習漬けの毎日でしたが、

ヨナは『カラオケに行きたい』『友達に会いたい』と少女らしい願望を素直に口に

出す子でした。それがバンクーバー五輪直前は、『韓国のキム・ヨナ』として国を背負うことを受け入れたように、自分の思っていることを口にするとはなくなった。まだ十代なのに、そばで見ている、かわいそうだなと感じるほどでした。

金メダルを取った直後は『解放された』と語っていた。あのときはフィギュアを辞める気だったと思う」(当時のキム・ヨナを知る人物)

しかしヨナ本人の意向はともかく、パク・ミヒ率いるキム・ヨナファミリーにとっては、まだスケート

後に師事した佐藤信夫コーチのもとで、スケーティングを磨いてきた。「一回転のジャンプも跳べなくなるほど基礎からやり直し、ジャンプにとつて大事なスピードを意識して四年間やってきた。その結果、国際的にもスケーティングが変わったという評価になり、PCSのスコアが伸びるようになりました」(日本スケート連盟関係者)

ソチの初戦となった団体戦で真央はショートプログラム

ラムに出場。トリプルアクセルを転倒し、スピンの判定

「個人戦に向けての再調整のため、ソチを離れて練習をしています。スピンやスタップについては、スタップがどこが悪かったのか分析しているの、個人戦では最高難度を取れるでしょう」(同前)

真央には四年前の雪辱を果たして、堂々と金メダルを獲得してもらいたい。

高橋は実力的にはメダルの候補だが、やはり気になるのはケガの具合。昨年十一月末に右すねを負傷。その影響から十二月の全日本選手権では五位に沈んでいる。

スケート関係者が明かす。「シーズン初戦のGPシリーズのスケートアメリカで高橋は四位と振るわなかった。不甲斐ないスケートを

靴を脱ぐタイミングではなかった。パク・ミヒはバンクーバー五輪の二カ月後にはスポーツマネジメント会

社「オール・ザット・スポーツ」を設立し、それまで所属していたIBスポーツとの契約を打ち切った。

「IBスポーツの選手管理には限界がある」ということが理由でしたが、そのIBスポーツでキム・ヨナを担当し、カナダでも付き添っていたク・ドンフェ氏を引き抜き、副社長に就任させています。IBスポーツには収入の二五%がマネジメント費として支払われていたが、それを払う必要がなくなったわけですね。IBスポーツの幹部は「今まで一所懸命サポート

「IBスポーツの選手管理には限界がある」ということが理由でしたが、そのIBスポーツでキム・ヨナを担当し、カナダでも付き添っていたク・ドンフェ氏を引き抜き、副社長に就任させています。IBスポーツには収入の二五%がマネジメント費として支払われていたが、それを払う必要がなくなったわけですね。IBスポーツの幹部は「今まで一所懸命サポート

「IBスポーツの選手管理には限界がある」ということが理由でしたが、そのIBスポーツでキム・ヨナを担当し、カナダでも付き添っていたク・ドンフェ氏を引き抜き、副社長に就任させています。IBスポーツには収入の二五%がマネジメント費として支払われていたが、それを払う必要がなくなったわけですね。IBスポーツの幹部は「今まで一所懸命サポート

今、高橋の状態はどうなっているのか。「高橋は一月下旬からモスクワでの合宿に入っていた。ケガも問題ないレベルに回復し、調整もしっかりやれたそうです。本人も『限界も考えずにやってきた』と語っており、いいコンディションで本番に臨めそうです」(スポーツ紙記者)

全国紙運動部記者が高橋の苦難の道振り返る。「高橋は〇八年に右膝の十字靭帯断裂と半月板損傷の大怪我を負いました。手術とリハビリを経て復帰した。リハビリは長い日で八時間を超え、激しい痛みも伴った。泣きながら取り組む日もあったそうです。それを乗り越えてバンクーバー五輪で銅メダルを獲得し、同じ年の世界選手権で優勝した。その後モチベーションが保てなかった部分にはあったはず。でも、彼は唯一残された『五輪で金メダルを獲得』という目標のために立ち上がった」

もうひとつ、高橋を奮い立たせるものがあ

「高橋はファンの喝采を浴びるのが大好き。今、フィギュアの国内大会の観戦者は高橋ファンが圧倒的な数を占めている。高橋は見かけによらず苦勞人でファンを大事にする。ホテルに詰めかけたファンにもきちんと挨拶します。引退を表明してはいますが、応援してくれるファンと別れたくない気持ちはあるでしょう。今回の結果次第では次回の五輪も、ということもあるのでは。実際、トリノ五輪金メダリストのロシアのプルシエンコは今大会も三十一歳でメダル候補ですから」

高橋が金メダルを獲得するために必要なことは何か。「とにかく四回転ジャンプを決めることです。羽生結弦(19)やカナダのパトリック・チャン(23)、ブルシ

「高橋はファンの喝采を浴びるのが大好き。今、フィギュアの国内大会の観戦者は高橋ファンが圧倒的な数を占めている。高橋は見かけによらず苦勞人でファンを大事にする。ホテルに詰めかけたファンにもきちんと挨拶します。引退を表明してはいますが、応援してくれるファンと別れたくない気持ちはあるでしょう。今回の結果次第では次回の五輪も、ということもあるのでは。実際、トリノ五輪金メダリストのロシアのプルシエンコは今大会も三十一歳でメダル候補ですから」



表現力は折り紙つき

ソチ五輪「氷上の熱闘」

高橋大輔「ファンと別れたい」 金メダルで引退撤回なるか

「出るからにはトップを目指す。いろんな思いが詰まった三度目の五輪。何があってもこれが最後。後先を考えず精一杯やりたい」

二月九日に合宿地のモスクワからソチへ到着した高橋大輔(27)は、そう意気込みを語った。高橋は、有終の美、を飾れるのか。

高橋は実力的にはメダルの候補だが、やはり気になるのはケガの具合。昨年十一月末に右すねを負傷。その影響から十二月の全日本選手権では五位に沈んでいる。

高橋は実力的にはメダルの候補だが、やはり気になるのはケガの具合。昨年十一月末に右すねを負傷。その影響から十二月の全日本選手権では五位に沈んでいる。

高橋は実力的にはメダルの候補だが、やはり気になるのはケガの具合。昨年十一月末に右すねを負傷。その影響から十二月の全日本選手権では五位に沈んでいる。

高橋は実力的にはメダルの候補だが、やはり気になるのはケガの具合。昨年十一月末に右すねを負傷。その影響から十二月の全日本選手権では五位に沈んでいる。